



MITSUMURA GRAPHIC GALLERY

はじめに

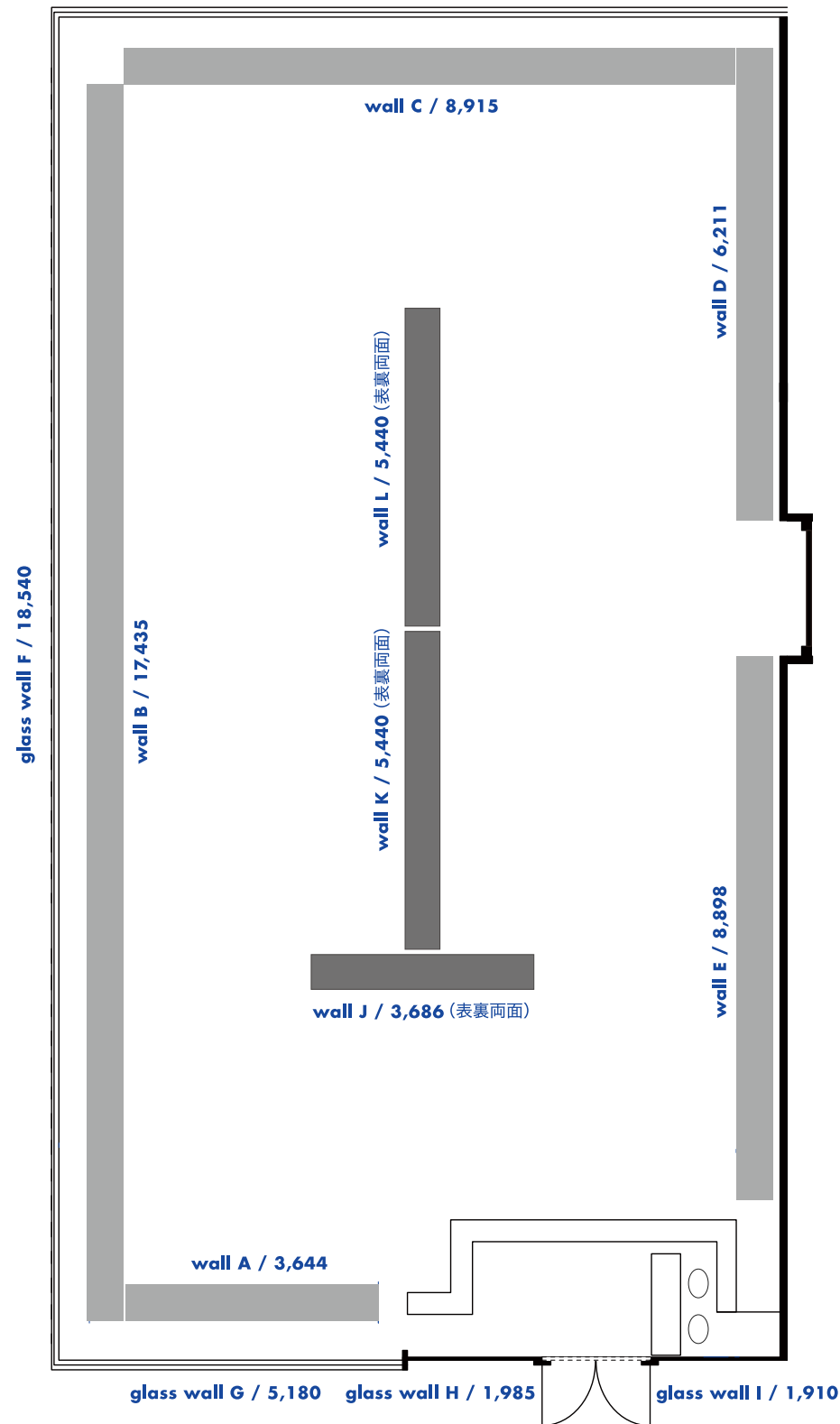
MGG(光村グラフィック・ギャラリー)は、光村印刷の情報発信と文化創造の拠点です。作り手・作品・受け手との関係を大切に考え、「つくり、つたえ、のこす。」の3つのキーワードによって、人々が集い、対話が生まれ、新たなコミュニケーションが生まれる ― そんな交流の場と考えています。



MGG展示スペース

平面图

- ・展示壁総面積 200m²
- ・床総面積 155m²
- ・天井高 3.5m



壁面(単位:mm)

A:H2,700 × W 3,644

B:H2,700 × W17,435

C:H2,700 x W 8,915

D:H2,700 x W 6,211

E:H2,700 × W 8,898

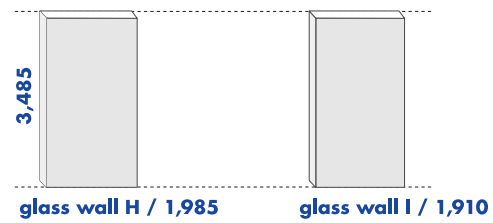
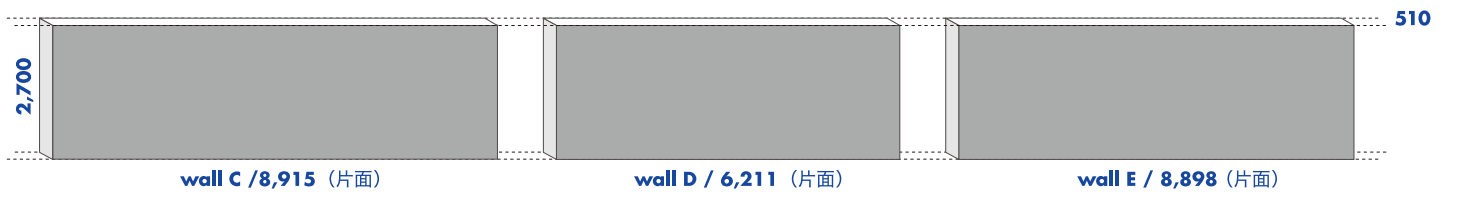
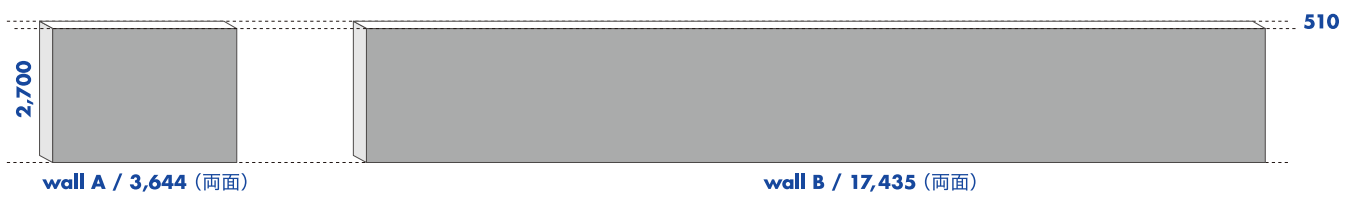
ガラス壁面(単位:mm)

F:H3,220 × W18,540 山手通りに面したガラス壁面。カットティングシート等でサインの展示が可能。壁面Bの裏側へのポスター、作品展示も可能。

G:H3,220 × W 5,180 ギャラリーロゴのあるエントランス正面。展覧会の告知専用スペース。

H:H3,485 × W 1,985 入口ドアから左側。

I : H3,485 × W 1,910 入口ドアから右側。



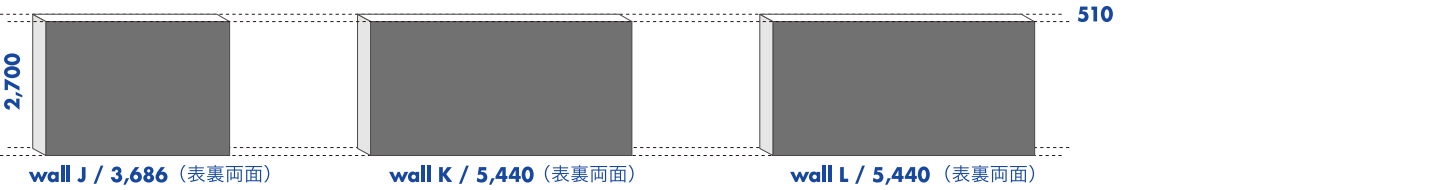
可動壁（単位:mm）

J：H2,700×W3,686×510

K：H2,700×W5,440×510

L：H2,700×W5,440×510

（J、K、L、の組み合わせ自由。使用例参照。）



使用例1

使用例2

使用例3

使用例4

使用例5

使用例6

設備（単位:mm）		
・長机	3脚	600×1,800×H700
・机	1脚	750×1,200×H690
・イス	40脚	
・展示台（大）	2台	450×2,300×H1,000
・展示台（小）	2台	450×450×H800
・アクリル展示ケース	4台	600×1,800×H300
・40インチモニター	1台	
・32インチモニター	1台	
・iMac 21.5インチ	3台	
・iPad	3台	
・ブルーレイ/DVDプレーヤー	1台	
・B1ポスタースタンド	1脚	
・B1イーゼルスタンド	1脚	

・給湯室完備

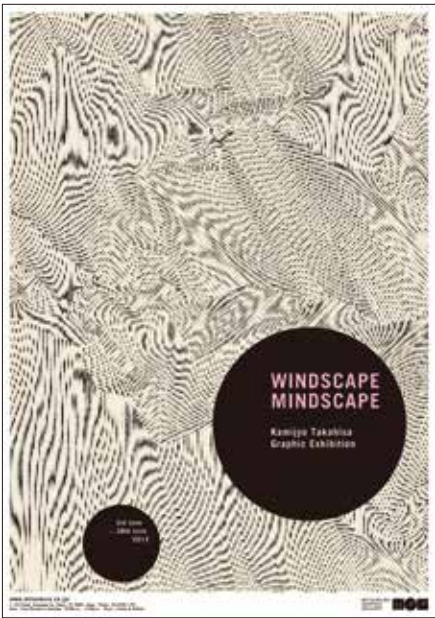
照明	
・LEDスポットライト（調光タイプ）	50灯
・LEDスポットライト（無調光タイプ）	50灯
※ 不明な点はお問い合わせ下さい。	

WINDSCAPE MINDSCAPE

～上條喬久グラフィック展～

2013年6月3日(月)～7月5日(金)

グラフィックデザイナー・アートディレクターとして活躍の上條喬久(かみじょう たかひさ)氏の展覧会。上條氏の描いたアナログの手書きの作品を、最先端のデジタル加工で表現することによって生まれた新しい純粋な風景＝WINDSCAPE MINDSCAPE。B1サイズのポスター50作品で、力強く豊かに表現されました。MGGオープニングを飾る刺激的な展示となりました。



KANAZAWA ADC展

金沢で生まれたデザインとそのアートディレクション

2014年3月4日(火)～28日(金)

石川県のクリエイティブシーンを盛り上げたいと発足した金沢ADCでは、活動開始早々ながら、クリエイターの地位や地場デザイン力の向上につながる功績を残したと認められて、2013年、石川県知事から「石川デザイン賞」を贈られています。今回の展覧会では、石川県を代表する優秀作品が一堂に集め、歴史・伝統文化だけではなく"金沢の今"をMGGから発信しました。



黒田泰蔵 白磁 写真 造本 印刷

2016年 9月28日(水)～10月30日(日)
2016年11月7日(月)～11月30日(水) ※会期延長
2016年12月26日(月)～2017年1月18日(水) ※ブース再構成

黒田泰蔵による自選作品集『黒田泰蔵 白磁 TAIZO KURODA white porcelain』をテーマに、黒田泰蔵の白磁、大輪真之の写真、木下勝弘の造本と光村印刷の印刷、4つのブースを並行展示することにより、一冊の書籍が、出来て行く過程での人・作品、本との出会いから、本製作プロセスまでを紹介しました。オリジナルモノクロ写真作品に応える「印刷美」の実現。その一連の流れを細部にわたって詳らかにする展示内容は、多方面から好評を博して、会期を延長しての展示となりました。



もじにぎり展

小杉幸一、渡辺潤平、EDP graphic works

2015年11月30日(月)～12月19日(土)

「寿司」という日本が生んだコンテンツがもっともっとエンターテインメント性という視点で広がるように、「もじにぎり」のアートディレクター小杉幸一、「小説にぎり」のコピーライター渡辺潤平、「映像にぎり」のEDP graphic worksという広告業界、映像業界で活躍する三者がタッグを組み、新たな寿司ワールドを創出しました。B1・B0ポスターが100枚以上並び、子供から大人まで多くの来場者がこのもじにぎりワールドをお楽しみいただきました。

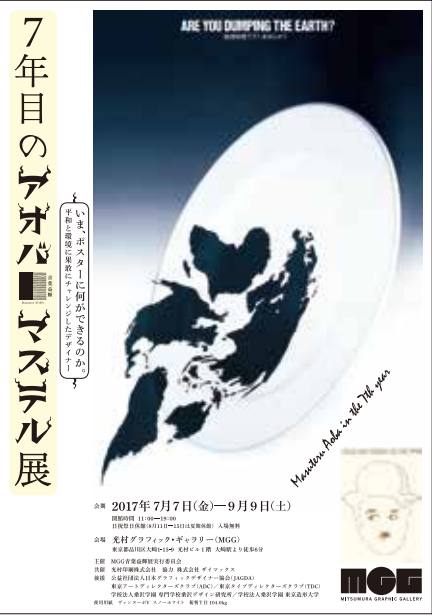


7年目の青葉益輝展

いま、ポスターに何ができるのか。平和と環境に果敢にチャレンジしたデザイナー

2017年7月7日(金)～9月9日(土)

2017年に没後7年目を迎え、世界的にもますます評価を高めているグラフィックデザイナー・青葉益輝。社会とデザインをつなごうとする、そのシンプルで明解な表現の試みは、この混迷の時代の中で、言葉や国境を超えて、多くの人たちの心をとらえ直しています。本展では「伝えたい、熱い意志から生まれた」青葉作品の全貌を展示し、「いま、デザインに、ポスターに、何ができるのか」を改めて問いかけました。この展示でガラス面を飾ったカッティングシートは、第20回CSデザイン賞において、中川ケミカル賞を受賞しました。



あっちゃんあがつく えほんのせかい展

2018年9月27日(木)～10月20日(土)

人気絵本『あっちゃんあがつく たべものあいうえお』の展覧会です。会場は「あ」から「ん」まで、絵本に使われた原画が大集合しました。『あっちゃんあがつく』の原点となった手づくり絵本、絵かるたなどを展示。刊行当初から絵本の印刷を担当している光村印刷ならではの本づくりの工程を紹介しました。会期中には作家のさいとうしのぶ先生と絵本を作るワークショップを開催したほか、絵本の読み聞かせ、ファミリーで気軽に立ち寄れる親子ひろばも催し、幅広い年代の方にお楽しみいただくことができました。



後世に遺したい写真

写真が語る日本の原風景

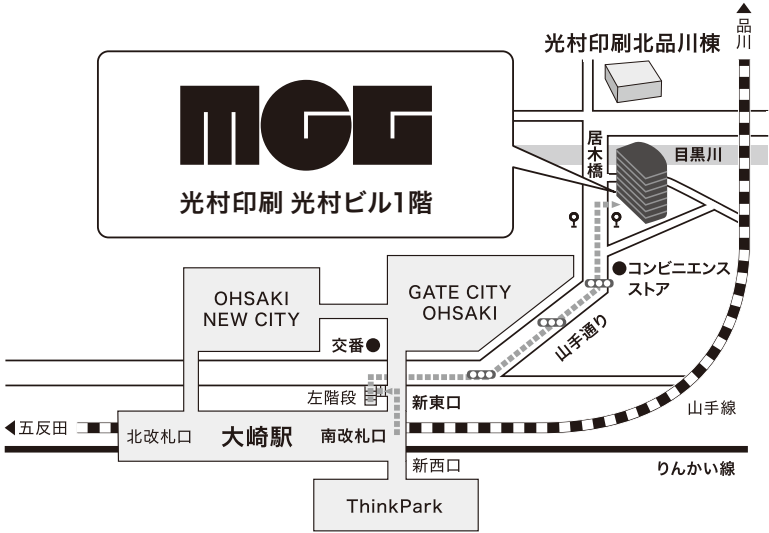
2018年10月25日(木)～11月24日(土)

日本写真保存センターで保管する貴重な写真原板からプリントした約100点を集めた写真展です。1910年代から2000年にかけて写真家がとらえた歴史的瞬間や文化財、街並みや人々の暮らしなど、その記録で日本の現代史をたどり、歴史の語り部としての写真の価値や写真原板を保存して後世に遺す意義を訴えました。



アクセス

- JR/りんかい線「大崎駅」南改札新東口を出て、左階段を降りて山手通りを品川駅方向に徒歩6分。コンビニエンスストアを越えて、目黒川の手前が光村ビル。
- 東急バス(渋谷駅⇄大井町駅)「居木橋」前



光村グラフィック・ギャラリー

〒141-8567

東京都品川区大崎1-15-9 光村ビル1階

TEL: 03-3492-8689

FAX: 03-3492-1997

<https://www.mtsunura.co.jp/>

企画・運営: 光村印刷株式会社